

「住民同士が助け合い、発展するまちづくり」

見学後に行われたタウンミーティングでは、「地域福祉」をテーマに、手話通訳を交えた意見交換が行われました。敬老パスや福祉除雪など、これからの札幌にとって重要な話題についての話し合いとなりました。

敬老パスについて

●市民から 敬老パスの今後の在り方については非常に身近な問題ですが、「もらえなくなるのでは」という不安の声もあります。財政上の問題があることから避けて通れないというのは分かりますが、結論を急ぐのではなく、広く市民の意見を募り、最善の方法を検討してください。

●市長から 敬老パスの制度ができたのには、確かに敬老の精神が根本にあります。実際には、お年寄りの方が閉じこもらずに、経済的な負担なしで外出できることにより、心身の健やかさを保つことができるだけでなく、社会に積極的に参加できるという効果もあり、非常に大切な制



●市民から 敬老パスは、長い間地域を支えてきた人たちに对する敬意の表れとして始まった制度だと思います。財政的な問題であれば、まず、公共事業の在り方や設備投資などを見直し、市政改革を進めた上で、敬老パスの議論を行うべきではないでしょうか。

度だと思えます。時間をかけて議論すべきだというご意見は、その通りだと思います。アンケートを行うなど、たくさんの方々からの意見を聞き、それを材料に財政上の問題も併せて議論した上で、方針を決めていきたいと考えています。



福祉除雪について

●市長から 除雪は札幌市民にとって最大の問題ですね。除雪の費用は年間150億円ほど使われています。市民からは「きめ細かい除雪を」という声がありますが、費用や人手の面を考えるとなかなかそこまでできないというのが現実です。そこで、「自分の家の除雪は自分たちで」という基本原則をもう一度確認したいと。そして、できない方たちには、地域の人みんなで協力しようというのが福祉除雪の考え方です。

●市民から 昨年、福祉除雪の協力員を経験し、高齢の方などの家庭でボランティア除雪を行いました。地域の中学生や高校生なども協力してくれていました。今年も協力員を募集していますが、実際には協力員をどう確保するかなどの問題があります。幅広く協力員を確保する必要があると思いますが、市長の考えを聞かせてください。

学生のボランティアについては、除雪している姿を見掛けたら声を掛けてあげるなど、大人たちが励ましていくことが大切だと思います。子どもたちが「ボランティアをしてよかった」と思えるような環境をつくり、共にはぐくんでいってほしいと思います。お互いに助け合える関係づくりが、将来のまちづくりにつながっていくのではないのでしょうか。

「出前講座」を行っています!

市では、市民の皆さんへの情報提供と対話の一環として、「出前講座」を実施しています。職員が皆さんの要望に応じて地域に出向き、市の施策や事業について分かりやすく説明します。



- テーマ 「健康・福祉」「子ども・教育」「まちづくり・市民活動」など10分野・194講座。
- 対象市内に在住、在学、在勤する、おおむね20人以上の町内会、サークル、PTAなど。

※テーマやお申し込み方法など、詳しくは市役所11階広報課や区役所広聴係で配布中のパンフレットのほか、ホームページ<http://www.city.sapporo.jp/somu/demaekoza/>をご覧ください。

【詳細】 広報課 ☎211-2036

